

大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第83号

平成20年12月17日

島根県立大田高等学校
P T A 総 務 委 員 会

〈学園祭テーマ〉

たなごころ

「掌く今このときにつながる想い」



合唱コンクール優勝:1年1組



ミュージック・フェスティバル

全国高P連大会に参加して

P T A 会長 内藤 芳秀

第58回全国高等学校P T A連合大会が、8月22日23日と愛知県で開催され参加しました。

「絆」を大会のメインテーマに、サブテーマを「愛と知で結び合う心と心」として、1万人を超える多数の参加を得ての大会でした。大会趣旨は、青少年を取り巻く社会環境が大きく変化し、価値観も多様化している今日にあつて、地域社会と学校との関りの中で、親子の絆、地域の絆、そして人間としての絆を今一度考える時代ではないか。その上で会員相互の絆をより深め、青少年の夢と希望をかなえようという主張でした。

分科会は4分科会があり、私は「学校教育とP T A」の会に参加しました。4校の発表がありました。特徴的でしたのは、学校と地域の連携の大切さでした。特に、学校から地域への情報発信であり、そのお手伝いをしてるのがP T Aでした。例えば、学校会報を町内会約12、000世帯に回覧し、学校の姿を地域に紹介したり、号外を出したりしている事例でした。

大田高では、生徒が新聞を時々発行しています。これ迄は、校内だけでしたが、この事例の話をしたら、早速石飛校長先生は、市役所や公民館などに配布をしておられます。また10月の校内ロードレース大会は、初めてP T A会員が監視員補助の参加をしました。大田高に於ても、少子化の中、人材育成機関として一層地域との連携を図り、大田高を盛り上げていく必要性を感じている次第です。以上、全国大会の内容を紹介し、報告とさせていただきます。

地区P T Aを開催して

今年も例年通り地区P T Aを開催出来た事に感謝しています。

当日は臼井教頭始め7名の先生方にお越し頂き、学校運営・教務・生徒指導・進路の観点からお話し頂きました。

学校運営の中の今年度重点目標には新たに「安全な環境づくりの推進」があります。私達が気になる問題に素早く対応されていて誠意を感じました。

出席者は引き続き学年会で普段気になっていた事を提案し、活発な中にも和気あいあいと話しました。

我が子に関わりたいのは保護者なら皆同じですが、関わり方の一つとしてこの様な会に向くのも意義ある方法だと考えます。ご参加待望します。

(久手・二・三地区 若狭 雅子)

今年度も高山地区P T Aを7月30日に、会員数23名中17名という毎年高い出席率を頂いて、開催をする事が出来ました。

まず学校より学校紹介、その後の学年会では、先生を交えて子供達の学校での様子、家庭での様子などを限られた時間ではありましたが、和やかな雰囲気の中で、活発な意見、情報交換が出来た事を大変嬉しく思っております。

高校になると、今まで以上に学校、保護者の皆さんとの接点が少なくなるものです。又、高校三年間は子供達にとって大きな転換期、そんな子供達を支える親として、この地区P T Aが、今後も、会員相互の交流、情報交換の場になる事を望んでいます。
(大森・水上・祖式・大代地区 木建 弘康)

毎年開催している温泉津地区懇談会を、今年も教頭先生をはじめ各担当先生、並びにP T A副会長をお招きし、保護者約半数の出席のもと開催することが出来ました。

まず最初の全体会では学校紹介、学校生活の近況報告があり、次に各学年会となり、学年毎の状況報告、並びに先生と保護者との意見交換が行われました。特に1年生の保護者の出席率が高く、意見・質問が活発に出され、2年前の自分とオーバーラップしました。私たち3年生保護者は子供の進学の話題が中心となりました。

最後に会を終えるにあたり有意義であったとの感想をいただき、意義ある懇談会が出来て良かったと思います。参加頂いた皆さん、ありがとうございました。

(温泉津地区 小川 勝美)

出雲地区のP T A数は15名。地区懇談会の出席希望を募ったところ、わずかに6名でしたが、少人数でも開催してほしいという地区の願いを快く承諾して下さった学校に厚く御礼申し上げます。

当日は、石飛校長をはじめ担当の先生方、内藤P T A会長をお招きし、学校生活、進路等の現状を説明していただきました。その後の学年会では、6名が家庭状況を話し、少人数ならではの、とても良い雰囲気の中で先生と活発な話し合いができ、学校とP T Aの相互理解が深まった意義のある懇談会になったと思います。

今年度は、開催地区が少なかつた様ですが、こういう場で日頃の悩み、考えをお話しするとても良い機会だと思えます。多忙の中難しい面もありますが今後も懇談会の開催を望みます。

(出雲地区 浜 知恵美)

「校内ロードレース大会」の監視員をして

生活指導委員長 田中 安夫

本年度より初めて実施することとなった「校内ロードレース大会」のP T A監視員補助を募集したところ、十五名の方々に協力をしていただきました。

当日は絶好のロードレース日和となり、購入した黄色い腕章を腕に、指定した定点監視場所へ移動した。

生徒が一斉に、往路を通過して行く「ガンバレー、ファイト」と拍手を送りながら励ました。復路も疲れを見せずに猛スピードで通過する者、それなりに通過する者と様々でしたが、全員が完走でき、皆さんお疲れ様でした。

真新しい体育館での表彰式にも参加でき、この監視員活動が継続され、毎年の恒例となればと思いました。

大野 邦子

生活指導委員会の活動として、ロードレース大会の監視員をさせていただきました。私の監視場所は、もう少しで男子折り返しという苦しい場所でもあり、余裕で走りすぎる者、歩きながらも進む者とそれぞれ自分の限界に挑戦して頑張る姿に、昔走ったロードレースの辛さが思い出されて応援にも力が入りました。息も苦しい中で生徒たち皆が挨拶を返してくれることに感謝し、大田高校生の素直さも感じる事ができるよい機会となりました。

部活の都合で参加できなかった生徒も、来年は一緒に参加できるとよいと思います。

進路回向かって

二年三組 和田 周平

僕にはまだはつきりとした夢がありません。ただ漠然としたイメージしかなく、友達が将来の夢について話しているのを聞くと、とても羨ましく、今の夢を持つていない自分がすごく嫌になります。でも、本当に自分がやりたいことを見つけて、それに向かつて一生懸命になれると、そのために、いま自分がなくてはならないことをしつかりやりたいと思います。

二年四組 宮迫 利帆

私は小さい頃から動物が大好きなので将来は動物関係の仕事に就きたいなあと思っています。LHRの時に、進路についていろいろと調べているけれどまだよくわかりません。なのでもっと調べて自分の行きたいところを決め、そこに行けるように今まで以上に毎日勉強や部活動を一生懸命頑張っていきたいと思っています。

二年五組 和田 一真

僕にはまだ将来になりたいものがありません。今、自分の行つてみたい大学や学んでみたいこと、周りの人の意見を参考に少しずつ考えています。

僕が将来どんな職業に就くにしても、高校で学ぶ勉強や、部活動・生徒会をはじめとした様々な経験は必ず役に立つと思うので、残りの高校生活を意欲的に過ごしていきたいと思います。

一年一組 松本 渚

幼い頃から外国の人と接する機会に恵まれていた私は、「将来、外国語関係の職業に就きたい」と考えるようになりました。

授業を通して学ぶ英語だけでなく、ESS部でコミュニケーション能力を高め、大学でさらに専門的な力を身につけたいと思っています。夢の実現に向け、強い意志を持って、一歩一歩努力していきたいです。

一年二組 根 宜雅美

私には人を助けたいという夢がありません。だから人助けができる仕事ならどんな仕事でもいいなと思っています。その中で特に興味を持ったのが児童福祉司でした。さまざまな問題を抱えた人が一人でも減ってほしいと思っています。まだまだ不安なことが多いけれどあきらめずに、今できる勉強を頑張りたいと思います。

部活動への取り組み

二年一組 川上 禎子

私は剣道部の部員として日々練習に励んでいます。練習はもちろん厳しいですが、稽古後の道場に部員の和やかな雰囲気の流れるひとは何にも代えられない物があります。これから、何もかもが最後になつていく私達二年生ですが、その全てが色々な意味で最高なものとなるように、一日一日、剣道部の皆と過ごしていきたいと思っています。

二年二組 松村 知華

私たち吹奏楽部は、部員35名で夏にある全日本吹奏楽コンクールに向けて日々練習に励んでいます。大田高校の音楽を聴いてくださる方々に少しでも届けられたら良いなと思います。結果を残すことは簡単なことではないですが今努力を怠らず、夏には良い結果を残せるようにこれからこの仲間と共に、頑張っていきたいと思っています。

ます。

一年三組 小笠原 瑞華

私は女子テニス部に所属しています。部員は14人で日々頑張っています。

冬になって暗くなるのが早いけど、集中して練習に取り組んでいます。しんどい練習とかはあるけど、部活は楽しいです。大会に向けて課題を一つ一つ克服していつか、部内の目標の団体優勝を達成するためにこれからも全員で頑張っていきたいです。

一年四組 大久保 祐貴

僕はJRC部に所属しています。入部しようと思ったのは奉仕活動に興味があったからです。募金活動に参加し学んだ事は「人の善意と優しさ」です。

初めて参加したのは岩手・宮城内陸地震の募金活動でしたが、多くの方が困っている人々の為に募金に協力してくれ嬉しかったです。僕も常に思いやる気持ちを持ちたいと思います。

一年五組 財間 寛太

僕はサッカー部に所属しています。部員数は14人で、日々の練習から全力で取り組んでいます。

先日の選手権では、いい結果が残せずとも悔しい思いをしました。だけどこの大会を通して、これからの練習で改善すべきことを見つけることができました。これからまた、みんなと練習に励み、新人戦や総体で少しでも上に勝ち上がれるように頑張ります。



ロードレース上位10です。 H20 天候:晴れ 気温:19°C (12時現在)

【女子】

順位	年	組	氏名	記録	
				分	秒
1	3	2	月橋 美花	37	20
2	1	4	山下 渚央	38	10
3	1	4	辻 文香	38	11
4	2	1	林 清子	38	26
5	2	3	小林恵理奈	38	27
6	2	1	郷原 彩也	38	31
7	1	4	岩谷めぐみ	38	35
8	2	4	松本こずえ	38	59
9	2	1	下垣美世子	39	34
10	3	1	眞田 千穂	40	05

【男子】

順位	年	組	氏名	記録	
				分	秒
1	2	3	和田 周平	37	16
2	2	4	中村 優	41	26
3	1	4	端本 裕二	41	30
4	2	1	波多野智規	41	50
5	1	5	中田 剛尊	42	14
6	1	3	後長 悟	44	06
7	1	3	伊藤 暢	44	19
8	1	2	三谷 一生	44	22
9	2	4	岡田 幸貴	44	30
10	2	1	中島 慎輔	45	01

今年度から保護者の方に監視員をお願いしました。が、生徒の安全が確保されたばかりでなく、生徒の走りの後押しする応援にもなりました。





一組

担任 大野 陽太
副担任 景山 怜香

こんにちは。僕たち一年一組は男子11人、女子29人のクラスです。担任は大野先生、副担任は景山先生です。

一組の皆は、休み時間によく寝ています。しかし、そこで溜めた力で授業中はとても静かに集中しています。あまりに静かなため、別な空間に行っていることもあります。一組に授業に来られる先生方、一組はこのようなクラスですので、今後とも宜しくお願い致します。

さて、そんな静かな一組ですが、時には目を覚まし、行動することもできます。



合唱コンクールでは、最優秀賞をいただくことができました。いざというときの団結力は、他には引けをとらないものがあると思います。

ところで、一組は毎年男女比に片寄りがあるようで……。女子は不自由のない高校生活を送っているようですが、男子はまあ……。言いたいことはそういうことです。

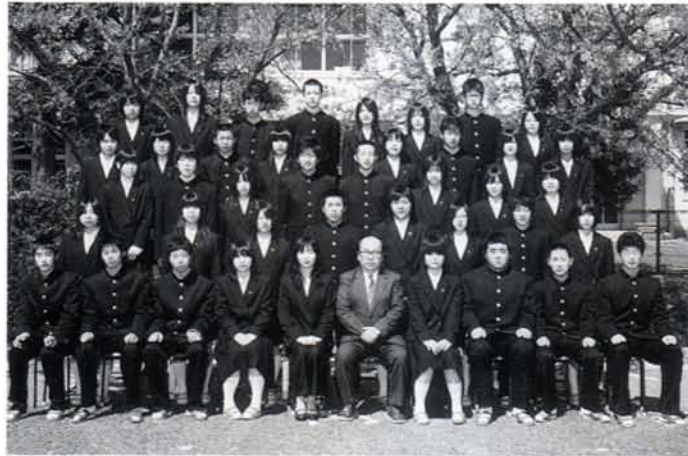
なんだが、後味が悪くなってしまうんですが、以上で一組の紹介を終わりたいと思います。何か一組について知りたいことがあれば、休み時間にも来て聞いてみてください。まあ、寝ているかもしれません。

森山 修嗣

二組

担任 柿田 純子
副担任 黒田 克司

皆さんこんにちは!! 私達一年二組は男子16人、女子23人の計39人のさわやかなクラスです。担任の先生は、数学を指導なさる柿田先生です。私達は陰で「数学の鬼」と呼んでいます。(笑) 副担任の先生は、英語を指導なさる黒田先生です。黒田先生は、英語だけでなく、人生についても語ってくれる私達の大先輩です。そんないい先生が指導なさる、私達のクラスは一言でいうと「にぎやか」です。休み時間は特に大騒ぎをしています。授業では、生徒一人一人が先生とコミュニケーションを取り、とても楽しいです。



このクラスの自慢は、仲間意識が強いことと、チームワークが良い所です。夏にあつた球技大会では、男女共に素晴らしい成績をおさめることができました。特に女子は、バレー、ソフトのどちらも優勝を飾ることができました。

とにかく仲がととてもとてもとても良くてみんな大好きです。

個性豊かな人やおもしろい人やうるさい人がいます。中でも特にNK君はクラスの中でも一番おもしろくてとても楽しい人です。YHとの仲がめちゃくちゃいいです。まあ、2コ1みたいな感じですね!! (笑)

そんな楽しいクラスにみんな遊びに来てください。

浜裕太郎・林侑里・小原直也

五組

担任 坂井 樹史
副担任 宅和 剛

こんにちは☆私たち一年五組は女子15人、男子24人のとても自由なクラスです。授業中に寝ている人が必ずいるほどです。

教室では、いつも笑いが絶えません。が、しかし最近男子の間で問題になっていることがあります。それは圧倒的にボケが多くツツコミが少ないということ。よって收拾がつかない。だから場の空気がまとまらない。つまりケジメがなくなる。それで「お前失格だ!!」と言われた事もあります。でもその時の確り反省した後の立ち直り方には我ながら目を見張るものがありました(笑)

した(笑)

三組

担任 角田 裕之
副担任 山藤 祐子

こんにちはザイル☆私達3組は男子16人、女子24人の計40人です!!担任はイケメン??体育教師、新婚ほやほやの角田先生で、副担任は恋バナ大好き古典の山藤先生です。

私たちはいつも静かに授業にとりくんでいます。それ以外でも静かです(笑)(笑)そんな私達ですが!!1学期に行われた球技大会では男子バレーボール優勝、女子ソフトボール準優勝でいい成績だったかな?と思っっていますー(笑)



正直なところ、あんまり盛り上がりとかがないクラスですが……。そこは!!担任の角田先生の愛と勇気と明るさと元気でなんとかカバーしていただいている気がします(笑)(笑)(笑)

このクラスでいられるのも、あと少しなので最初にも言ったように今までどおり真剣に勉強に取り組みつつ楽しくやっていけたらいいなと思います。

福岡さつき♡小村弥生



四組

担任 有川 哲子
副担任 小川 俊輔

こんにちは。私たち一年四組は男子16人、女子24人の計40人です。担任は時に厳しく時に優しい有川哲子先生です。副担任は、おっとり系の小川先生です。

私たちのクラスは良く言えばにぎやかで、悪く言えばうるさいクラスです。授業中は一応静かに受けています。たぶん(笑)とにかく一組は男女仲がいいうえにきつと先生とも仲がいい……はずです。

そんな四組の黒板の上には有川先生



持参の御守りが置いてあります。きっとその御守りは私たちのことを守ってくれています♡もしくはネガティブに考えると呪っていると思われる(笑)ぜひ見に来て下さい☆

合唱コンクールや体育祭では最初、全くまとまりがなくなすこく心配でした。でも徐々にひとつにまとまってきました。一組はやれば出来る!!クラスです。さすがTetsuo'sクラスですね(笑)

このメンバーで過ごす時間は残りわずかだけど、やる時はやる☆休み時間は馬鹿騒ぎして楽しい学校生活を送っていきたいです。こんな一組の四をこれからもよろしくお願いします。

岩谷恵莉・小谷衣里

女子は男子に比べて人数は少ないですがなかなかのマイペースでジャニヲタなんかもいたりします。(笑)休み時間に踊ったりする人も一、二人?いますが暖かく見守ってもらえたら嬉しいですよ♡

尋ねますよー、〇〇ええかのおが口癖なのが担任の坂井先生。副担任は柔道一筋宅和先生です。お二人とも個性がキラリ星がじわり々魅力的な先生です。みんな先生が大好きです!!

これからの二年半こんな39人の大切な仲間と互いに助け合い毎日楽しく笑いの絶えることのないクラスになれるといいなと思います。こんな私たちですが今後も担任の先生も含めなにとぞよろしく願います

バイバイ☆

中田剛尊・岩崎啓太・安井さおり



学園祭をやり遂げて

生徒会長 勝部 真実

私はこの大高祭を通して、ひとつのものを作り上げることの楽しさや、先頭に立ち物事を進めていくことの難しさなど日常生活ではなかなか得られないたくさんさんの貴重な経験をしました。大高祭を成功させることができたのも全校生徒のみなさんをはじめ、先生方や地域の方のみなさん、そして生徒会メンバーの支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

紫組団長 河原 一世

体育祭を終えて、紫組の人全員に支えてもらっていたことを実感しました。三年生の立場になって、自分が本当に組を引っ張っているか不安でしたが、クラスの人のおかげで無事体育祭を成功させることができました。体育祭を通して、本当にたくさんの方の学ぶことができました。先生方をはじめ、多くの方に感謝しています。

緑組団長 細田 怜稀

まさに怒濤の如く過ぎ去った日々でした。最初はうまくいくと思えた我クラスでしたが、途中で言い争いクラスがバラバラになったことがありました。しかし、今思うとみんなが体育祭をよりよくしようと考えていたからだと思います。そして最後にはクラスが一つになり優勝することができました。このことは、私の高校生活で一番うれしく心に残りました。

また、一二年生の協力には大変助けられ感謝しています。最後になりましたがお世話になった方々に深くお礼を申し上げさせて頂きたいと思っています。

赤組団長 杉本 拓也

まさに怒濤の如く過ぎ去った日々でした。正直つらいことの方が多かった気がしますが、周囲の協力を得てとても楽しかったです。実際クラスの人は、想像していた以上に協力してくれました。皆を力強く引っ張っていったとは言えませんが、皆の組長として体育祭という大きな舞台に立てたことは大変ありがたく、最高でした。

黄組団長 竹村 淳

まさに怒濤の如く過ぎ去った日々でした。暑い中、多くの人と協力し合い助け合った事は、決して忘れません。体育祭が終わる二カ月過ぎた頃にこの文章を書いています。まだあの頃を思い出すと、涙が溢れ出してきました。それほど素晴らしい思い出なのです。この経験をかわいいうち後輩達に味わってほしいです。

青組団長 浅田 紘旭

体育祭をやり遂げて青組の人全員に支えてもらっていた事を実感しました。特にクラスの人々には本当に助けてもらう事ばかりでした。途中もめることもありましたが最後はクラスが一つになり全員で楽しめたと思います。体育祭を通じて、たくさんの方と出会い、楽しめよかったです。

全国大会に出場して

弓道部 中村 優太郎

僕達弓道部は、六月の県総体で男女アベック優勝し、埼玉インターハイへの出場を果たしました。結果は、男子がベスト16、女子がベスト32でした。また、十一月の全国選抜予選でも男子が優勝し、来年の三月に行われる全国選抜へのキップを手に入れました。島根県の代表として頑張るので、応援よろしくお願いします。

陸上競技部 中島 慎輔

今年は埼玉総体のほか、大分国体にも出場しましたが、両大会とも自分が納得のいく結果は出せませんでした。全国大会に出場する度に、全国で勝つことの厳しさを身染みて感じます。来年は全国入賞を目指します。応援ありがとうございます。

新聞部 工藤 修也

知識も経験もまったく無かった自分達でしたが、みなさんの取材協力や、多くの方々のアドバイスのお蔭で、総文祭に参加することができました。レベルの高い全国の新聞部員と交流して、強い刺激を受け、とても貴重な経験をすることができ、本当に良かったです。

放送部 西谷 真実

NHK放送コンテストにアナウンス部門で出場しました。準決勝にあることはできませんでしたが、全国という高

いレベルの読みを聞き、作品を観ることができたのはとても貴重な体験でした。この経験を今後の糧としたいと思います。

美術部 福谷 菜月

猛暑の中、行ってきました総文祭！全国作品がしのぎを削っており、いい意味でその火花に当てられてきました。貴重な体験ができました。ただひとつ心残りを挙げるとしたら・・・群馬では特に名産を見つけたことが無かった事です。

囲碁部 宮根 裕司

東京で行われた全国大会では、やはり全国大会だけあってレベルが高く、目標としていた結果には及びませんでした。が、精一杯やったので悔いはなく、充実した時を過ごせました。この経験を生かして今後も頑張っていきたいと思っています。

将棋部 島田 砂希

今回群馬で行われた全国大会に参加して、あつという間ではありましたがとても貴重な体験をすることができました。今後この経験を生かして、来年も出場できるように頑張つて練習していきたいと思います。

水泳同好会 木下 恵

高校総体、大分国体では、納得のいく結果は残せなかったものの、最後まで自分らしい積極的なレースをすることができました。これらの大会では、厳しい練習や、周りの方々の支えが一番の自信になりました。応援ありがとうございます。

